

第1回 六ヶ所村新庁舎建設検討委員会 議事録

日時	令和2年11月11日(水) 15:00~17:00
場所	六ヶ所村文化交流プラザ「スワニー」大会議室
出席者	<p>委員</p> <p>高橋文雄委員(六ヶ所村議会議長) 高田博光委員(総務企画常任委員会 委員長) 高橋信委員(東北大学大学院工学研究科量子エネルギー工学専攻技術社会システム専攻 教授)【委員長】 小藤一樹委員(学校法人八戸工業大学工学部土木建築工学科 准教授) 高田孝徳委員(六ヶ所村行政連絡員協議会 会長) 三戸秀子委員(六ヶ所村地域連合婦人会 会長) 種市治雄委員(六ヶ所村商工会 会長) 及川次夫委員(一般社団法人六ヶ所村観光協会 会長) 橋本喜代二委員(社会福祉法人 六ヶ所村社会福祉協議会 会長) 橋本兼蔵委員(六ヶ所村三漁協協議会 会長) 石久保斉委員(六ヶ所村農業委員会 会長) 久保勝廣委員(特定非営利活動法人六ヶ所村スポーツ協会 会長) 久保政廣委員(六ヶ所村消防団 団長) 工藤健司委員(六ヶ所村教育委員会 教育長職務代理者) 齋藤英明委員(公募) 秋元美穂委員(公募) 伊藤宗太郎委員(公益財団法人 環境科学技術研究所 常務理事)【副委員長】 林巧委員(国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構核融合エネルギー部門 六ヶ所核融合研究所 ブランケット研究開発部長) 工藤純一委員(新むつ小川原株式会社取締役常務執行役員 青森本部長) 相澤文雄委員(日本原燃株式会社地域・広報本部 副本部長) ※欠席</p>
	<p>村</p> <p>戸田衛村長</p>
	<p>事務局</p> <p>六ヶ所村役場 総務課 種市課長 六ヶ所村役場 総務課 円子課長補佐 六ヶ所村役場 総務課 林下GM 六ヶ所村役場 総務課 高村主査 六ヶ所村役場 総務課 佐々木主査 六ヶ所村役場 総務課 浅野主事</p>
	<p>事務局支援</p> <p>建設技術研究所東京本社都市部 PFI・PPP室 川井、小溝、吉田</p>

1. 配布資料

- 第1回 六ヶ所村新庁舎建設検討委員会次第
- 資料1 六ヶ所村新庁舎建設検討委員会委員名簿
- 資料2 六ヶ所村新庁舎建設検討委員会設置要綱
- 資料3 新庁舎建設に向けたこれまでの取り組みについて
- 資料4 六ヶ所村新著者建設基本構想(素案)
- 資料5 検討スケジュールについて
- 資料6 各種調査について

2. 審議内容

開会・委嘱状交付

- 事務局より、開会の挨拶を行った。

村長挨拶

- 村長より、挨拶を行った。

委員及び事務局紹介

- 各委員、事務局より、自己紹介を行った。

仮議員の選任・会議成立の可否

- 【事務局】村長を仮議長に推薦する。
⇒【委員一同】異議なし。
- 【事務局】委員 20 名中出席者 19 名と過半数以上の出席要件を満たしている報告を行った。

委員長・副委員長の選任・挨拶

- 【事務局】委員長・副委員長の選任について説明を行った。
- 【委員】事務局案があれば提示をお願いしたい。
⇒【事務局】事務局案として、高橋（信）委員に委員長を、伊藤委員に副委員長をお願いしたい。
⇒【委員一同】異議なし。

六ヶ所村新庁舎建設基本構想・基本計画について（諮問）

- 村長より高橋（信）委員長へ諮問書の手交を行った。

3. 案件

（1）新庁舎建設に向けたこれまでの取り組みについて

- 事務局より、新庁舎建設に向けたこれまでの取り組みについての説明を行った。
- 【委員長】視察の予定に関して、新型コロナウイルスの影響はあったのか。
⇒【事務局】検討当初は原子力施設周辺の庁舎事例の視察も検討していたが、新型コロナウイルスの影響で断念をした。なお、そのような事例について、インターネットなどを用いて調査を行っている。

（2）六ヶ所村新庁舎建設基本構想（素案）について

- 事務局より、六ヶ所村新庁舎建設基本構想（素案）についての説明を行った。
- 【委員】P13「（1）新庁舎の位置」について、建設候補地の決定については、村民へのアンケートの実施も必要と考える。また候補地 A から G について、海拔高さはどの程度か。

⇒【事務局】アンケートの実施については後ほど説明するが、村民に向けたアンケートを実施予定である。個別の候補地について、この場で正確な標高は回答できないが、候補地 A 以外は P8 記載の津波災害に対する適地条件の標高 15m 以上を満たしている。

- 【委員】国道の標高はどれほどか。庁舎自体の標高が十分でも接続道路の標高が低いことは問題であると考え。また東通原子力発電所及び日本原燃六ヶ所再処理工場からの候補地の距離についてはどのように考えているのか。

⇒【事務局】現庁舎前の道路については、浸水区域となっている。原子力施設からの距離については、東通原子力発電所から半径 30 km 圏 (UPZ) の境界がろっかぼっか周辺となる。庁舎の防災性については他事例も参考としながら検討を進めていく。

- 【委員】具体的な候補地や機能は既に素案にて詳細に挙げられている。本検討委員会では何を決定すべきか。

⇒【事務局】まずは候補地の選定を行いたい。今後行うアンケート結果などを踏まえ、検討委員会にて候補地について議論をしていただきたい。その後、基本計画にて導入機能の議論を進めていきたい。

- 【委員】P6「3. 新庁舎建設の基本的な考え方」として、「(1) 防災拠点機能を充実させた庁舎」及び「(2) 災害に強い庁舎」は統合してもよいと考える。また追加項目として、庁舎がまちづくりの拠点機能を担う旨を加える必要がある。また放射線防護に係る機能についても基本構想内で明記する必要がある。

⇒【事務局】追記する内容はご意見を踏まえて検討させていただく。

- 【委員】庁舎は今後 50 年ほど存続するものであり、この村の将来を見据えた大きな方向性の中で庁舎がどのような役割を果たすのか、そのためにはどのような機能が必要かといった順序だてた議論が必要である。そのため、まずは庁舎の目指す方向性を決定し議論を進める必要がある。

⇒【事務局】ご意見を踏まえ、基本構想・基本計画の策定を進めていく。

- 【委員】p12「(5) 敷地面積について」において、必要面積の精査が必要である。駐車場面積に関しても、駐車スペースのみの計算にとどまり、車路などは算入していない。今後詳細な算定が必要である。また消防機能や公民館の導入を考慮すると、立地適正条件が変わる可能性もある。これも検討項目に加えて議論すべきである。

⇒【事務局】駐車場面積などはあくまでも概略の参考数値である為、ご意見を踏まえ、今後検討を進めさせていただく。

- 【委員】今後数十年の構想の中で策定をすべきという意見が出たが、現庁舎の機能を基準とし、それを拡張していくイメージか。その場合、具体的にどの程度拡張させていくといった検討は進んでいるのか。

⇒【事務局】現状、そういった検討は行っていない。将来を予測し、検討できる部分については庁舎の必要面積などに反映していきたい。

【委員】P26「その他、建設に当たって留意すべき事項」の「(1) 具体的な耐震性能」について、耐震構造では建物だけでなく内部機器類の耐震化も必要であること、耐震構造ではメンテナンス費用が発生する可能性があること、免震構造では基礎部分を二重化することなどコスト上昇の要因もあるので、様々な面を考慮し検討すべきである。

⇒【事務局】意見を踏まえ、今後検討を進めさせていただく。

(3) 検討スケジュール

- 事務局より、検討スケジュールについての説明を行った。

- 【委員】「各種調査」におけるアンケート調査について、対象者はどの範囲か。

⇒【事務局】現在、職員及び来庁者へのアンケート庁舎を考えている。その後、無作為抽出にて村民へのアンケートを行う予定である。

- 【委員】アンケート調査にて、設問には候補地に関する項目を記載すべきである。

⇒【事務局】意見を踏まえ、追記する内容は検討させていただきたい。

(4) 各種調査の企画について

- 事務局より、各種調査についての説明を行った。

その他・閉会

以上